

白浜レスキューネットワーク通信 8月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>

e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

8月1日～8月31日

電話件数 82件

保護件数 2件

- お盆明け、昨年近くの旅館に就職が決まり自立した70代の男性が、職場との関係がうまくいかず、戻ってきた。しかし、23日に就職面接に行ったのち、帰ってこなかった。
- 20日、三段壁から電話があり男性を保護した。精神疾患を持っており、旅をしていたという。話を聞いたのち帰宅することになったが、後日、再び保護し入院が決まった。

生活自立支援活動

8月1日～8月31日

滞在者数 10人(男性9人,女性1人)

自主退所 1人

○警備会社に勤めている60代の男性が、お盆休みから2週間ほど行方がわからなくなった。衝動的にお金を使ってしまい、戻ってきたときには、もらったお給料がほとんどない状態であった。自分の問題をよく振り返り、課題克服に再度頑張ることになった。

○まちなかキッチンと豆腐屋で働く50代の男性が、皿洗いをしているシェアハウスの責任者となった。最後の片付けや、人の配置などを責任持って行っている。

○先月保護した40代の男性が、豆腐屋の仕事に就いた。体調がすぐれない点もあり、職場と勤務形態を相談しながら働いている。

自殺予防活動

・まちなかキッチン

弁当部門は毎日250個近くの注文があった。新しい体制の出荷方法がずいぶん定着してきた。

惣菜部門は、弁当を頼んでくれるお客さんからの注文を新たに増やすことができた。最近では、店舗に事前注文し、取り置きで受け取るお客さんも増えた。

11～15日のお盆休み期間に店舗の厨房を改装した。

・放課後クラブ「コペルくん」

昨年度の「コペルくんサマースペシャル」の参加者が、地域の学童を大幅に上回ってしまった。そのため、今年は、昨年度までの1日預かるプログラムから、自由研究と宿題に力を入れた内容に切り替えた。平日の午後から期間限定で「コペルくん夏期学校」という名前で実施した。平均6人ほどの子どもが来た。宿題、自由研究、工作、絵画に取り組む時間と遊ぶ時間を両立させ、充実した時間を過ごした。自由研究には中学校の校長先生が協力してくださった。先生の指導のもと、白浜海岸に化石の発掘にも行った。28日には、夏休みの頑張ったご褒美として、日置川に遊びに行った。毎回来ていた5人のメンバーが参加し、夏の終わりを楽しく過ごした。



川でとうもろこしを焼いて食べた

3日、秋田県藤里町

・ボランティアの受け入れ

- 8～21日 聖学院大学男性1名
- 15～20日 愛知県男性1名
- 22～25日 登戸エクレシア教会5名
- 23～27日 女性2名

・はじめ人間自然塾

26日、「いかだdeゴー@白良浜」を行った。参加した子どもは3人であったが、竹のいかだを一から作り、白良浜で遊んだ。お昼はカセットコンロでカップヌードルを食べるなど、普段はあまりできない経験をさせることができた。今後は、教会の駐車場にある「はじめ小屋」の修繕を計画している。



手作りいかだで白良浜を遊泳

・相談電話

2日、9日、16日、23日、30日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・講演活動